

内牧地域まちづくり協議会 会報

令和3年12月 発刊

高齢者サポート隊（見守り活動）

内牧地域まちづくり協議会では、高齢になっても安心して暮らしていける地域づくりを進めるために、主に、ひとり暮らし高齢者の見守り活動を行っています。

しかしながら、コロナ禍が継続しており高齢者見守り隊のサポートメンバー間の情報交換や全体の動きを周知徹底するためのコミュニケーションのための対面活動が全くできず、すべて郵便利用というもどかしい活動状況でありました。



サポート隊そのものが高齢化或いは独居になっている状況が発生しておりメンバーの見直し等も必要になっていると感じており、コロナ終息時点で全体会合を行い方向性を検討することとします。

これからも、内牧地域まちづくり協議会では、地域の中で、身近な人による支え合いや助け合い活動を進めてまいります。



* 令和3年度上半期サポート対象者数 53名 7名減

* 令和3年度下半期サポート対象者数 54名 1名増

* 令和2年度3月分及び上半期（令和3年4月～9月）の活動状況は次のとおりです。

★ 高齢者サポート隊 代表 朝日忠則 ★

| | サポート隊数 | 対象者 | 声かけ | 訪問 | 安否確認 | 話し相手 | その他 |
|-----------|--------|-----|------|-----|------|------|-----|
| 令和2年度3月 | 26名 | 53名 | 38回 | 7回 | 16回 | 10回 | 4回 |
| | サポート隊数 | 対象者 | 声かけ | 訪問 | 安否確認 | 話し相手 | その他 |
| 令和3年4月～9月 | 26名 | 53名 | 236回 | 44回 | 120回 | 61回 | 30回 |

環境美化パトロール活動

生活・環境部会は、毎年、3月・7月・11月の第3日曜日の年3回環境美化道路パトロールを実施しています。

令和3年11月21日、本年度第2回目となる日に、内牧地域まちづくり協議会本部役員と宇陀市地域環境保全推進委員とで、合同で環境美化道路パトロールを実施しました。

道路脇への車のタイヤ、骨組みパイプ、壊れた水槽等が捨てられていました。

なぜ、分別処理をして出さないのでしょうか？

パトロールをしていて感じることは、ほとんどが車からのポイ捨てです。袋に入れての投棄、人家の無いところになると特に目立ちます。

このような現状をみると、これからも、定期的な環境美化道路パトロールは必要だと考えます。



★ 生活・環境部会 部会長 飯阪傳次 ★



内牧地域まちづくり協議会事務局（たかぎふるさと館 内）